



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月10日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東
コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理部長 (氏名) 谷内 亮太 TEL 03 (6381) 7760
四半期報告書提出予定日 2024年4月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,045	51.3	539	91.2	530	91.2	395	110.0
2023年8月期第2四半期	1,351	-	282	-	277	-	188	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	32.92	31.06
2023年8月期第2四半期	16.61	15.48

- (注) 1. 当社は、2022年8月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年8月期第2四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,069	1,560	50.8
2023年8月期	2,628	1,092	41.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,558百万円 2023年8月期 1,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	40.6	750	50.9	740	50.1	540	49.7	44.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	12,383,640株	2023年8月期	11,907,492株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	368株	2023年8月期	329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	12,013,532株	2023年8月期2Q	11,340,321株

（注）当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手について）

当社は、2024年4月10日（水）に第2四半期オンライン決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文章中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限は徐々に緩和され景気回復の兆しが見えてきた一方で、不安定な世界情勢や為替変動及び原材料価格やエネルギー価格の高騰等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

しかし英語学習市場につきましては、高齢化への懸念を持つ企業の海外市場への進出、グローバル人材の確保といった中長期的視点での英語学習への意欲は依然として高く、より高い成果を求めて従来型の英会話サービスから英語コーチングサービスへの乗り換えの動きも散見されるようになりました。このような動きに対応する形で、従来型の英会話サービス提供会社が英語コーチングサービスを展開する等、着実に英語コーチング市場が拡大しているものと見ております。また、個人での英語学習だけでなく、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する企業のニーズも存在することから、中長期的に英語学習市場全体が堅調に推移していくものと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、②英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、という主に2つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。また、シャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等を行うことにより、有料課金ユーザー数は堅調に推移しております。さらに、当社は2023年12月19日にスピーキングに特化した新サービスである「スピフル」をローンチいたしました。スピフルは、スピーキング力を上げるために必要なトレーニングの口頭英作文（注1）と実践の独り言英会話（注2）の双方を実施することに加え、AI添削による「振り返り」を行うことで、スピーキング力を向上させるサブスクリプション型サービスです。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,045,683千円（前年同四半期比51.3%増）、営業利益は539,884千円（前年同四半期比91.2%増）、経常利益は530,448千円（前年同四半期比91.2%増）、四半期純利益は395,541千円（前年同四半期比110.0%増）となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

- (注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。
2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,069,956千円となり、前事業年度末に比べ441,734千円増加しました。これは主に、現金及び預金が385,598千円増加し、敷金が24,623千円増加し、売掛金が23,803円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,508,966千円となり、前事業年度末に比べ26,328千円減少しました。これは主に、契約負債が140,298千円増加し、未払金が78,893千円、賞与引当金が52,454千円、長期借入金が26,670千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,560,990千円となり、前事業年度末に比べ468,062千円増加しました。これは資本金、資本剰余金が35,632千円それぞれ増加し、利益剰余金が395,541千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より385,598千円増加し、2,361,242千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した現金及び現金同等物は、401,451千円(前年同四半期は346,205千円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益530,590千円の計上、契約負債の増加140,298千円、法人税等の支払い134,186千円、未払金の減少62,609千円、賞与引当金の減少52,454千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した現金及び現金同等物は、44,859千円(前年同四半期は780千円の支出)となりました。これは敷金の差入による支出27,633千円、有形固定資産の取得による支出17,226千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した現金及び現金同等物は、29,007千円(前年同四半期は190,931千円の収入)となりました。これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入70,946千円、長期借入金の返済による支出42,563千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、最近の動向及び今後の見通し等を勘案し、2023年10月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,644	2,361,242
売掛金	58,520	82,323
商品	11,707	16,191
貯蔵品	3,149	2,209
前払費用	69,957	70,200
その他	13,144	24,963
流動資産合計	2,132,123	2,557,132
固定資産		
有形固定資産		
建物	180,878	180,878
減価償却累計額	△50,000	△56,323
建物(純額)	130,878	124,554
工具、器具及び備品	17,664	18,607
減価償却累計額	△11,100	△12,189
工具、器具及び備品(純額)	6,564	6,417
有形固定資産合計	137,442	130,971
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	7,541
出資金	20	20
長期前払費用	1,647	514
繰延税金資産	122,307	122,307
敷金	226,046	250,669
その他	800	800
投資その他の資産合計	358,656	381,852
固定資産合計	496,098	512,824
資産合計	2,628,221	3,069,956

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,520	22,175
1年内返済予定の長期借入金	71,826	55,933
未払金	208,975	130,082
未払費用	85,502	84,295
未払法人税等	148,470	151,549
契約負債	695,512	835,811
預り金	21,028	24,057
賞与引当金	119,059	66,604
その他	65,561	64,290
流動負債合計	1,434,458	1,434,800
固定負債		
長期借入金	94,450	67,780
資産除去債務	6,386	6,386
固定負債合計	100,836	74,166
負債合計	1,535,294	1,508,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	280,101	315,734
資本剰余金		
資本準備金	277,101	312,734
資本剰余金合計	277,101	312,734
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	535,105	930,647
利益剰余金合計	535,105	930,647
自己株式	△349	△401
株主資本合計	1,091,959	1,558,713
新株予約権	967	2,276
純資産合計	1,092,927	1,560,990
負債純資産合計	2,628,221	3,069,956

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,351,732	2,045,683
売上原価	392,340	542,039
売上総利益	959,391	1,503,644
販売費及び一般管理費	677,037	963,759
営業利益	282,354	539,884
営業外収益		
ポイント還元収入	1,203	628
利子補給金	685	524
助成金収入	-	330
その他	319	171
営業外収益合計	2,209	1,654
営業外費用		
寄付金	-	10,000
支払利息	1,283	797
その他	5,881	293
営業外費用合計	7,164	11,090
経常利益	277,399	530,448
特別利益		
新株予約権戻入益	-	141
特別利益合計	-	141
税引前四半期純利益	277,399	530,590
法人税、住民税及び事業税	89,026	135,049
法人税等合計	89,026	135,049
四半期純利益	188,372	395,541

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	277,399	530,590
減価償却費及びその他の償却費	9,888	10,423
株式報酬費用	-	1,093
寄付金	-	10,000
新株予約権戻入益	-	△141
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,369	△52,454
受取利息及び受取配当金	△5	△8
支払利息	1,283	797
上場関連費用	5,522	-
売上債権の増減額(△は増加)	△10,254	△23,803
棚卸資産の増減額(△は増加)	811	△3,544
仕入債務の増減額(△は減少)	2,380	3,654
未払金の増減額(△は減少)	△42,015	△62,609
未払費用の増減額(△は減少)	3,969	△1,206
前払費用の増減額(△は増加)	15,204	△242
契約負債の増減額(△は減少)	189,653	140,298
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,194	306
その他	△8,151	△6,724
小計	458,859	546,426
利息及び配当金の受取額	5	8
利息の支払額	△1,283	△797
寄付金の支払額	-	△10,000
法人税等の支払額	△111,376	△134,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	346,205	401,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△780	△17,226
敷金の差入による支出	-	△27,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△780	△44,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△10,000	-
長期借入金の返済による支出	△58,308	△42,563
株式の発行による収入	264,811	-
自己株式の取得による支出	△50	△52
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	70,946
新株予約権の発行による収入	-	676
上場関連費用の支出	△5,522	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,931	29,007
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	536,357	385,598
現金及び現金同等物の期首残高	955,541	1,975,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,491,899	2,361,242

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。